

生物探究（文系）	単位数	2 単位	実施予定授業数	70 時間
----------	-----	------	---------	-------

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1年での「生物基礎」では、日常生活や社会との関連を図りながら、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な見方や考え方を養ってきた。「生物探究」では、さらに目的意識をもった観察，実験などの探求活動や問題演習等を通し、生物学的な知識や探究心、理解力を育てていく。
使用教科書・副教材等	1年次使用教材「生物基礎」数研出版「生物図説」浜島書店「リト`light ノート」数研出版。整理ノート・問題集を新たに購入

2. 学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查範囲	時数
第1学期	「生物基礎」の復習と発展				
	第1編 生物と遺伝子	4	「生物基礎」の基本事項について、探求活動を通して総復習を行い、生物学的に探究する方法や問題解決の能力を身に付ける。	各考查間の学習範囲を指示する。	20
	第2編 生物の体内環境の維持	5			
	第3編 生物の多様性と生態系	6			
<p>[課題・提出物等] 下記を指示に従い提出する。 ○実習・観察プリント ○課題・授業プリント ○授業ノート</p> <p>[第1学期の評価方法] 考查の結果と出席状況等により総合的に判断し、10段階評定とする。</p>					
第2学期	第3編 生物の多様性と生態系	7	1学期のつづき	各考查間の学習範囲を指示する。	25
	総合演習①	8	「生物基礎」の基本事項について、探求活動を通して総復習を行い、生物学的に探究する方法や問題解決の能力を身に付ける。		
		9			
	総合演習②	10	問題演習を行い、生物学の基本的な概念や原理・法則の定着を計る。		
		11			
<p>[課題・提出物等] 下記を指示に従い提出する。 ○実習・観察プリント ○課題・授業プリント ○授業ノート</p> <p>[第2学期の評価方法] 考查の結果と出席状況等により総合的に判断し、10段階評定とする。</p>					
第3学期	特別編成授業	12	問題演習を中心に、生物学的な考え方の応用力を養う。	授業中に指示・実施する。	25
		1			
		2			
<p>[課題・提出物等] 授業の中で指示する。</p> <p>[第3学期の評価方法] 1・2学期と同様とする。</p>					
<p>[年間の学習状況の評価方法] 各学期の評定を総括し、年間の5段階評定とする。</p>					